

2026 年度 授業計画(シラバス)						
学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	評価実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	実習施設
担 当 教 員	学科教員・臨床実習指導者	実務経験と その関連資格	実際に臨床現場で働く理学療法士から直接指導を受ける			
《授業科目における学習内容》						
実際に臨床現場での経験を通じて学ぶ。指導者の指導のもと、対象者の問題点の分析思考を修得することに加え、経験可能な業務を経験し理学療法士として必要な技術を修得する。 指導形態は、診療参加型臨床実習としOJTを基本とする。						
《成績評価の方法と基準》						
出席状況、取り組み姿勢、成果物、実習評価表、実習後の報告会を総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
出雲医療看護専門学校 理学療法士学科 臨床実習要項						
《授業外における学習方法》						
実習を通じて明らかとなった復習や予習内容について積極的に自己学習を行う						
《履修に当たっての留意点》						
臨床実習指導者は5年以上の実務経験を有するものとし、かつ臨床実習指導者養成講習会等を受講した者とする。 感染や医療事故等には十分留意して取り組むこと。 社会人、医療人としてふさわしい態度や身だしなみで取り組みこと。 患者・利用者、スタッフ、実習施設に少しでも貢献できるよう献身的に取り組むこと。						
臨床 実習	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	患者や利用者に関する必要な情報収集(理学療法評価も含む)を立案し、得た情報を統合解釈することで対象者の課題を整理できる。また、学生の能力に合わせて経験可能な評価や治療その他の技術を身に着ける。		実習要項	実習での経験を振り返り 自宅で必要な準備や自 己研鑽の学習を行う。
		各コマに おける 授業予定	臨床実習施設で4週間(20日間)実施する 1日の実習時間は家庭学習も含め9時間とし、1週間の実習時間は40～45時間とする。 実際の診療場面に参加しながら、指導者の指導のもと取り組む。診療場面への参加を通じて、対象者の分析に必要な情報収集項目の立案や情報を統合解釈する思考過程を修得する。また、経験可能な業務の経験を通じて理学療法士に必要な技術を身に着ける。			